2017年3月の格言

平成２７年３月の格言は

社長とは
企業の将来に
手を打つ人である

新事業というものは、それが軌道に乗って
わが社の収益の柱になるには
少なくとも３年はかかると思わなければならない

ということは
３年後のことを今日から始めなければ
間に合わないということを意味しているのだ

私が会社のお手伝いをして
まず短期経営計画を社長と共に作り上げると
そこには大きな収益不足が生ずるのが常だ

その収益を売上高に直すと、その大きさに
たいがいの社長がびっくりしてしまうのである

ということは
社長が如何にわが社の将来
それもたった１年後のことである
を知らないかということを意味している

前向きに物を考え、前向きに手を打つ
これが社長の仕事である

社長とは企業の将来に関することをやる人である
そして
それは社長以外には誰もやってはくれないことなのである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より